

周りの様子を見て育つ子どもたち 澤 悦弘

現在、こども園に勤めており、乳児や幼児が遊んでいる様子を見ていると、ほのほのとすることや感心することがいっぱいあります。

子どもたちがカードゲームをしていた時のことです。年中の3人が遊んでいてAちゃんが負けてしまい、機嫌を損ねてしまってテーブルの上にあったカードを床にばらまいてしまいました。そこへ年長のBちゃんがやってきて状況を聞き、「私もそんなことがあったわ」と言いながら床のカードを拾っていました。

翌日、別の3人がゲームをしていて、その時も負けた子がテーブルのカードを床にばらまいてしまいました。そこへ前日に機嫌を損ねてカードをばらまいてしまったAちゃんがやって来て、何も言わずに床のカードを拾っていたのです。

その様子を見ていた年長のBちゃんが「Aちゃん、すごい!」と言った時、Aちゃんは赤くした顔をかくしながらも満面に笑みを浮かべていました。



子どもたちがお互いに刺激を受けながら周りの子どもたちにやさしく接している姿を見ると、これからこの気持ちを失うことなく育っていくように願うばかりです。

次号は田中 清行 さん

2月の予定表

| (2月) | (相談員) |
|------|--|
| 1 日 | ★ 中村真奈美 |
| 2 月 | お休み |
| 3 火 | まちあかり健康づくり(10:00~11:30) |
| 4 水 | ★ 山田 善嗣 |
| 5 木 | |
| 6 金 | ★ 竹中 寛 |
| 7 土 | |
| 8 日 | お休み |
| 9 月 | お休み |
| 10 火 | まちあかり健康づくり(10:00~11:30) |
| 11 水 | お休み |
| 12 木 | お休み カフェまちあかり |
| 13 金 | ★ 加藤 幸江 |
| 14 土 | |
| 15 日 | ★ 西川 孝 |
| 16 月 | お休み |
| 17 火 | まちあかり健康づくり(10:00~11:30) ごちゃまぜカフェ(13:00~15:00) |
| 18 水 | ★ 仁賀 定夫 |
| 19 木 | |
| 20 金 | ★ 藪内キヨ子 |
| 21 土 | まちあかり食堂(11:00~13:00) |
| 22 日 | ★ 加藤 幸江 |
| 23 月 | お休み |
| 24 火 | お休み まちあかり健康づくり |
| 25 水 | ★ 清水 良恵 |
| 26 木 | |
| 27 金 | ★ 和田 通 |
| 28 土 | |

たかしま地域 伝言板 たかしま地域 伝言板 たかしま地域 伝言板

総門ラジオ

大溝・高島地域の歴史や文化、暮らしを語るインターネット番組!

毎週金曜朝8時にSpotifyにて配信!

本や資料には載らない、生活のあれこれや言い伝えも♪

いつでも聴ける / 大溝の暮らしと歴史ばなし



https://x.gd/Vq1Zp



開館日: 日・月・火・水・木・金・土 (お休みは上記の予定表を御覧ください)

相談時間: 10時~12時 (★ 相談員が待機しています)

開館時間: 9時~13時 (事務スタッフが待機しています)

高島地域住民自治協議会
高島市勝野670 (高島公民館2F)



☎: 090-2115-9055 (お越しの際は、まずはお電話下さい)

https://srt.shiga.jp mail: takashima.juminzichikyoku@gmail.com

区・自治会の困りごと、一緒に考えお手伝いします
サポートリング∞たかしま



高島地域住民自治協議会だより vol.47

中面特集

区・自治会の枠を越えた防災の取り組み

「広域避難所って、どうなってるの?」

高島地域住民自治協議会の会合で出た「広域避難所はどうなっているのか」という素朴な疑問がきっかけとなり、今年度、区・自治会の枠を越えた新たな防災の取り組みが始まりました。

自治協議会で話し合う中で、「自分が自治会長の時も、広域避難所をはっきり把握していなかった」という声が上がリ、まずは実際に見学してみようという話になりました。

高島市災害ボランティア活動連絡協議会に相談したところ、「避難所運営ゲーム (HUG) を体験してみれば」と提案を受け、計画は大きく前進しました。

☆ ショックを受けた避難所運営ゲーム (HUG)

8月22日夜、高島公民館で行われたHUGには多くの住民が参加しました。

「犬を連れて避難してきた方への対応」、「熱のある人を体育館に入れてよいか」、「届いたおにぎりの配り方」など、次々と突きつけられる課題に、参加者は真剣に議論。避難所では予想外の出来事が重なることを実感し、運営の難しさを共有する貴重な機会となりました。



8月22日 避難所運営ゲーム (HUG) を実施して、避難所では様々な予期しない状況が発生することを学びました。



10月18日 避難所現地確認会の前に、避難所の運営についての基本的な事から、高島市で作成された避難所運営マニュアルの内容などを座学で学びました。

☆ 防災部会を立ち上げて

広域避難所現場確認会のプログラムを再考!

この体験を踏まえ、自治協議会では防災部会を立ち上げ、広域避難所の現場確認会の内容を見直しました。

単に避難場所となる体育館を見るだけでは不十分と判断し、まず区長・自治会長・防災リーダー・福祉委員、民生委員などを対象に、10月18日に避難所運営の基礎を学ぶ事前勉強会を開催!

そのうえで現場を確認する流れへと改善しました。

☆ 現場確認会の実施!

11月24日には、高島小・中学校で現場確認会を実施。参加者は校庭や体育館、トイレの配置を確認し、段ボールベッドや間仕切りの組み立てを体験しました。

また、模擬避難所運営委員会も見学し、「災害時は行政主体でなく、避難所運営に避難者自身が自ら運営に関わることが重要」という意識を共有しました。

☆ 来年度以降に向けた取り組み

今年度は高島小・中学校を広域避難所とする区・自治会を中心として実施しましたが、来年度以降は高島地域全体へと範囲を広げる予定です。

誰一人取り残さない避難体制を築くため、高島地域住民自治協議会では、今年の学びと反省を生かしながら、地域一丸となって取り組みを進めていきます。

都合により今号では「団体紹介」をお休みさせていただきます。



① 9:00集合！まずは校舎の外を確認



② 駐車場となるグラウンドから駐輪場へ



③ 校舎内を見学して確認



④ 段ボールベッドの組み立て体験



⑤ 仮設トイレの使い方を確認



⑥ 模擬避難所運営会議の様子を見学

参加者のコメント

本当に有意義な集会ができたと思います。
 この中で、色々な発見や疑問点、問題点が出てきました。
 自分もいざ災害が起きた時は、「市の職員の指示に従って手伝ったらよいだろう」くらいの感覚でした。
 今回の事前学習会及び現場確認会での内容を取り入れて、今後の自治会活動の中でも「自助・共助」の取り組みに活用できたらと思います。
 お疲れ様でした。

参加者の声 榊自治会長 松井 徹

参加者アンケート結果（選択式）

① 避難所運営を住民主体で行うことの理解は高い

90%の参加者が「行政主体ではなく、住民が中心となる避難所運営の大切さ」を理解していました。しかし実際の施設を見ると想像と少し違い、避難所運営のイメージが分からないとの回答がありました。実際に行動する練習が必要と考えられます。

② 高齢者・障がい者、女性配慮、役割分担が大きな課題

避難所では、高齢者や障がい者、女性への配慮が特に必要と感じる人が約50%いました。また行政職員と自治会役員との役割分担が課題とする人が90%を超えました。避難所の設備問題だけでなく、行政を含めた話し合いが重要であることが明らかとなりました。

③ 役員交代に備えた継続的な学習が必要

区・自治会の役員は毎年変わるため、90%以上が「継続して話し合う場が必要」と答えました。知識が引き継がれないと防災力が下がるため、年間を通じて学び続ける仕組みを作ることが大切という意識が共有されていることが明らかとなりました。

参加者アンケート結果（自由記入式）

① 行政で検討された避難所運営について

災害時に住民をうまく誘導できるか不安があり、高齢者や体の不自由な人への対応、ベッドや間仕切りの準備、感染症対策などが十分でないという意見がありました。

また、車で避難する人の把握や情報共有、毎年変わる役員の引き継ぎも課題で、各々の区・自治会の特殊事情にも配慮した運営方法に見直す必要があるという意見が多くありました。

② 区・自治会の地区防災計画の改善点

多くの区・自治会で策定されている地区防災計画に関して、一人で避難できない人をどう助けるか、安否確認の方法、車の動き方や渋滞対策など、具体的な決めごとが足りないという声がありました。

区民・自治会員の名簿作成の必要性や、災害時にそれらを活用できる準備ができていないとの指摘もありました。

区・自治会役員の交代による引き継ぎや、なり手不足も問題と思われ、災害時に実際に動けるようにする為、毎年継続的な訓練を続ける必要があるとの意見がありました。

主催者のコメント

地域内7ヶ所に広域避難所が指定されているが、どれだけ周知されているだろうか。今回は、手始めに高島小中学校だったが、中学校の体育館は1階、格技室は地下、小学校の体育館は2階という具合で初めてだとまるで迷路だ。区自治会だけでは今回のような広域避難所防災訓練はできない。自治協議会ができて6年目、やっと「らしい」活動ができたのではないと思う。

自治協防災部会 竹中 寛